

【 記載例 】

○年○月○日

いしかわ里山づくり推進協議会  
会長 谷本 正憲 様

申請者  
住 所 石川県○○市○○町1-1  
名 称 ○○スローツーリズム協議会  
代表者 会長 ○○

2019年度いしかわ里山振興ファンド事業助成金事業計画について  
＜スローツーリズムの推進（ネットワーク形成支援）【地域の合意形成に向けた支援】＞

標記助成金の交付について、次の関係書類を添えて要望します。

（関係書類）

- 1 事業計画書
- 2 事業実施主体の規約、構成員等がわかる書類

※本様式は、日本工業規格A4判とすること。

**いしかわ里山振興ファンド事業助成金事業計画書**  
**＜スローツーリズムの推進（ネットワーク形成支援）【地域の合意形成に向けた支援】＞**

1 申請者

(1) 申請者及び事務局

名 称		〇〇スローツーリズム協議会
代表者	氏 名	会長 〇〇（所属団体：株式会社〇〇 代表取締役社長）
	住所及び 連絡先	〒920-1234 石川県〇〇市〇〇町1-1 TEL：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇／FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail：〇〇@〇〇
事務局 (担当者)	氏 名	事務局長 〇〇（所属団体：NPO法人〇〇 副会長）
	住所及び 連絡先	〒920-5678 石川県〇〇市〇〇町2-1 TEL：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇／FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail：〇〇@〇〇

(2) 構成員

所属・役職・氏名	所在地	主な事業内容	(1)に おける役職
株式会社〇〇 代表取締役社長 〇〇	〇〇市〇〇町1-1	〇〇施設経営	会長
〇〇 シェフ 〇〇		飲食店経営 (フランス料理)	副会長
〇〇漆器店 代表 〇〇		輪島塗の販売	会計
NPO法人〇〇 〇〇		まちづくりコンサルタント	事務局
〇〇農園 〇〇		農業	

(3) 連携団体

所属・役職・氏名	所在地	主な事業内容	(1)に おける役割
〇〇市農林課 〇〇	〇〇市〇〇町〇番地	行政	オブザーバー
株式会社〇〇	東京都〇〇区〇〇	旅行業	体験メニュー 開発に係るア ドバイス
〇〇大学 教授 〇〇	〇〇市〇〇	景観の専門家	景観形成の指 導・助言
J A 〇〇	〇〇町〇〇	生鮮野菜・加工品等の直売	食材生産振興 等に係る協力

## 2 事業内容

### (1) 事業名称

〇〇地域のスローツーリズム化推進事業

### (2) 事業対象エリア

〇〇市〇〇地区

〇〇町〇〇地区

〇〇町〇〇地区

### (3) 地域の現状・課題

人口（過疎高齢化）・農林水産業（耕作放棄地の増加、農業の担い手不足）・景観（老朽空き家の増加による景観悪化）・受入整備（宿泊施設がない、ボランティアで体験メニューを提供）など様々な観点から地域が直面している現状や課題を記載してください。

(4) 事業概要

地域の主要資源である・・・・・・を活用したスローツーリズムを推進するため、・・・・・・について調査を行うとともに、先進地である・・・・・・から講師を招聘した勉強会を開催ほか、・・・・・・し、地域の合意形成を図る。対象は、・・・・・・に加えて、・・・・・・の産地である・・・・・・地域の生産者や住民のほか、販売を強化するため、・・・・・・商工会、飲食店などを想定し、事業を展開。

(5) 事業の将来像・目標

地域の強みを踏まえながら、事業の中長期的（5～10年後を想定）な将来像（この地域が推進するスローツーリズムの概要を来訪者にPRするイメージ）や目標を記載してください。

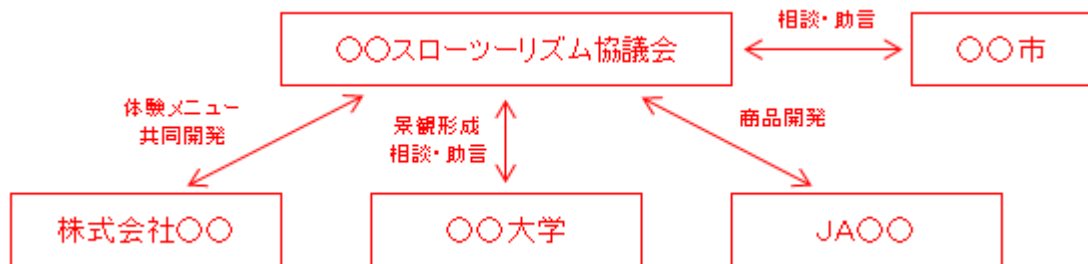
(6) 事業計画

- ・ 開始予定 ○年○月○日
- ・ 完了予定 ○年○月○日

期 間	実施内容
1 年目  ○年○月から ○年○月まで	○年○月まで、・・・・・・に関して・・・・・・を実施し、・・・・・・をする。また、・・・・・・に向けた・・・・・・を図る。その後、○年○月まで、・・・・・・に関する調査を行い、○年○月から、・・・・・・を通じて・・・・・・を開始する。

(7) 事業実施体制

事業を実施していく上での体制や連携する事業者等を具体的に記入してください。その際には、内部でできること（もしくは得意な点）を記入するとともに、それだけでは事業の遂行ができない場合には、外部の専門家などの活用も検討してください。



(8) 他の助成金の交付を受けた実績及び当該年度の他の助成金への申請状況

過去2年以内に公的機関等から補助金や助成金を受けた場合、もしくは、今後申請が予定されている公募事業があれば記入してください。

### 3 収支計画（単位：千円）

#### （1）収入の部

費目	金額	備考
里山振興ファンド助成金	1,000	
自己資金	500	
合計	1,500	

#### （2）支出の部

費目	金額	備考
謝金	90	ワークショップ講師謝金 @30,000円×3回
特別旅費	150	能登-東京往復 @50,000円×3回
普通旅費	150	先進地視察旅費 @50,000円×3人
印刷製本費	10	ワークショップ資料印刷費
調査研究費	300	
コンサルタント費	700	
備品費	100	
合計	1,500	